

## 船舶事故調査報告書

平成25年4月18日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成24年8月8日（水） 10時40分ごろ
発生場所	福井県福井港福井区 福井県坂井市所在の福井北防波堤灯台から真方位143° 1,410m 付近 （概位 北緯36° 11.4′ 東経136° 07.7′）
事故調査の経過	平成24年11月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
<b>事実情報</b> 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート <small>アイリン</small> AIRIN、5トン未満 243-33329 岐阜、個人所有 3.25m (Lr) × 1.42m × 0.60m、軽合金 ガソリン機関、7.3kW、平成11年12月
乗組員等に関する情報	船長 男性 62歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和57年6月25日 免許証交付日 平成24年2月6日 （平成29年12月23日まで有効）
死傷者等	軽傷 2人（船長及び同乗者）
損傷	右舷舷縁に擦過傷、船外機が脱落して濡損、電動船外機が脱落して紛失
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、全員が救命胴衣を着用し、船長が、福井港三国区の三国防波堤南方沖から釣り場を変えながら南方に移動し、福井港福井区 <small>ふるかわ</small> の古河岸壁北東方50m付近に錨泊していた台船の南西方に至り、古河岸壁との間で漂泊しながら釣りを行った。 船長は、船首を北西方に向けて台船を風よけとしていたが、釣りをしている間に本船が風潮流によって流されるので、台船や岸壁に近づかないよう、距離を保つために船外機の前後進レバーを操作しながら釣りを続けていたとき、魚が釣れてストリンガー（釣った魚をフックに引っ掛け、生かした状態で海中に流しておくための釣り道具）に掛けるために下を向いていたところ、右舷船首方からの北寄りの風と

	<p>船首方からの南東流を受けて船首が反転し、本船が古河岸壁東方の海岸（以下「本件海岸」という。）に向けて流された。</p> <p>本船は、本件海岸の水深が約30cmとなった所まで約50m流されたところで、船長が、本船の船首が本件海岸に向き、水深が浅くなっていることに気付き、船外機を後進としたものの、平成24年8月8日10時40分ごろ船外機の下端が本件海岸の砂浜に乗り揚げた。</p> <p>本船は、船外機が停止するとともに、引き波により船外機を中心として反時計回りに船首が北方に振れ、船外機が外れて海中に落ち、左舷方から波を受けて砂浜に乗り揚げ、更に波を受けて右舷側に横転し、船長及び同乗者が、船外に投げ出されたものの、付近の砂浜に上陸した。</p> <p>船長は、福井海上保安署へ徒歩で向かい、本事故の発生を伝えた。</p> <p>船長及び同乗者は、本事故の翌日に病院で診察を受け、船長が右上腕右下腿打撲挫創、同乗者が右下腿打撲とそれぞれ診断された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：南東流約1ノット、潮汐 下げ潮の中央期、潮高 約38cm（福井）</p>
その他の事項	<p>本船は、喫水が船首約0.10m、船尾約0.15mであった。</p> <p>船長は、防水型の携帯電話を所持していたが、本事故当時は暑かったため、重ね着していた上着を脱いだ際に携帯電話をバッグに入れ、本船が横転した際にバッグが海に落ち、バッグと共に携帯電話を紛失した。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、福井港福井区の古河岸壁北東方沖において、船首を北西方に向けて漂泊して釣り中、船長が、下を向いて釣り上げた魚をストリンガーに掛ける作業を行っていたことから、本船が水深の浅くなった所へ流され、船外機を後進としたものの、船外機の下端が本件海岸の砂浜に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、本船が、福井港福井区の古河岸壁北東方沖において、船首を北西方に向けて漂泊して釣り中、船長が、下を向いて釣り上げた魚をストリンガーに掛ける作業を行っていたため、本船が水深の浅くなった所へ流され、船外機を後進としたものの、船外機の下端が本件海岸の砂浜に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸付近で釣りを行う際は、風や波、潮流等によって水深が浅くなる所まで流されないように周囲の状況を確認すること。</li> </ul>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・防水型の携帯電話を所持していても、海に落として紛失する虞があるので、防水パックに入れて身に付けておくことが望ましい。</li></ul> |
|--|---|